

平成30年度 学校関係者評価報告書

学校名：あいちビジネス専門学校

1 学校目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・本学園の建学の精神「社会から喜ばれる知識と技術を持ち、歓迎される人柄を兼ね備えた人材を育成し、英知と勤勉な国民性を高め、科学技術・文化の発展に貢献する。」 ・学生一人ひとりのニーズを満足させると共に、質の高い資格とスキルを持った良識ある職業人を育成する。 ・「こたえを出す学校」として「夢をかたちに」を実現する。 			
学校目標に対する評価・意見			
<ul style="list-style-type: none"> ・学校として最重要な「教育活動」に関する自己評価と課題意識が明確であり、改善方針も非常に具体的に示されており、改善効果が期待できます。 ・卒業後までを視野に入れた学生支援はフォロー対象者も膨大な人数であり、自己評価からも大変難しく地道な努力を要する取組みであることが感じられました。 ・「社会貢献・地域貢献」に関しては、自己評価が低かったようですが、社会貢献活動全般としては、他の教育機関との連携や講座実施等、活発に取組まれており高く評価したいです。 ・「国際交流」について学習成果が評価する取組みがあまりできていないという自己評価で、せっかく留学生を多く受け入れている学校で機会はあるはずなのに惜しいと感じました。 ・全般として適切な評価、改善のための課題設定およびその取り組みが出来ていると判断出来ます。 ・評価委員会での意見に対して、学校側がどのように判断したのか、そして何か具体的に行動すると判断した場合に、どういう結果となったか、一連の流れとして見えてくる改善活動の全体像がクリアになって良いかと思われます。 ・今後は少子化の影響もあり学生の確保もより難しくなっていくことと思われます。モラトリアム傾向のある学生の多い中、社会・企業の求める人材を育成し、今後も「答えをだす学校」であり続けることを期待しています。 ・社会状況が常に変化しており、それに対応できる人材育成やカリキュラムの検討がなされていると思います。 ・自己評価に対しての課題がきちんと検討されていると思います。 ・新しい時代に向けて、また刻々と変化する環境に対応する取組み姿勢を感じました。 ・学校の自己評価については、適正な評価だと思います。 			
2 学校自己評価報告書について			
学校自己評価報告書基準	学校自己評価報告書についての評価点の平均		
	自己評価の結果が適切か	改善に向けた取組みが適切か	今後の改善方針が適切か
	4：適切な評価である 3：ほぼ適切な評価である 2：やや不適切な評価である 1：不適切な評価である	4：十分適切な取組みである 3：ほぼ適切な取組みである 2：あまり適切とはいえない取組みである 1：適切とはいえない取組み	4：十分な効果が期待できる 3：ほぼ十分な効果が期待できる 2：あまり効果が期待できない 1：効果は期待できず、改善を要する
基準1（教育理念・目標）	4	3.86	3.71
基準2（学校運営）	4	3.57	3.57
基準3（教育活動）	3.86	3.57	3.57
基準4（学修成果）	3.86	3.57	3.57
基準5（学生支援）	3.57	3.29	3.14
基準6（教育環境）	3.71	3.86	3.86
基準7（学生の受入れ募集）	3.86	3.86	3.86
基準8（財務）	4	4	3.86
基準9（法令等の遵守）	4	3.57	3.57
基準10（社会貢献・地域貢献）	3.57	3.57	3.29
基準11（国際交流）	3.86	3.29	3.14
3 今後の改善意見			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献については、例えば学校祭で地域住民向けのセミナー開催など、引き続き可能なところから取り組まれると良いと思われます。 ・ボランティア活動は強制ではないので、取り組みも難しいと思います。しかしボランティア活動は社会貢献・地域貢献にふまえ、教育にもなると思います。現在日本各地で被災され避難生活をされている方が多くみえます。距離の問題はあるかもしれませんが、参加するきっかけとして教員と一緒にボランティア活動を行うのも、学生にとっては受け入れやすいのではないかと考えます。 ・地域の事業者支援に、国際色豊かな自由な学生の発想を活かしたボランティア活動はできないでしょうか。他校では、学生による企業支援を法人化して収益を上げています。販売ビジネス科の学生には、実践的に学んだことを発揮できるよい機会になると思います。卒業生にも声を掛けて連携して取組めばさらに互いの可能性が拡がると考えます。 ・社会から歓迎される人材育成のため、知識だけではなくホスピタリティを持った人材を育成いただきたいと思います。そのためには、社会貢献や地域との連携など学校外の活動も大切だと思いますので、今以上に学生の方々に推奨していただきたいです。 ・今後、オリンピック・パラリンピックの開催という機会を活かして、国内外から来名されるゲストに対し学生たちの学修成果（例えば、語学、接客接客技術等）を発揮できないでしょうか。 ・卒業後のフォロー（再教育）については、卒業生や就職先企業への継続的ヒアリング等を通して、何らかの形が出来てくると良いのではと思われます。 ・進路意識や目的意識が希薄なまま入学をする学生に対して、卒後のキャリアアップを考えさせる場があるとよい。（講義＋グループワーク等） ・就職売り手市場である現在では、どこか就職先を見つけることは容易なこととなっているが、容易であるために安易に就職先を決めてしまわないよう指導することが重要であると考えます。 ・社会が変化していく中で、その時代に求められるスキルや能力も変化していると思います。企業などと状況共有を行っていただき、就職後に少しでも苦勞が緩和できるような教育をしていただきたいと思います。開校後、多くの卒業生が社会で活躍していると思います。その方から社会の現状や、求めるスキルなどの話を聞ける交流の場を設けるのもよいのではないかと思います。 ・課題としてすでにあげられていますが、Web出願システムや就職管理システムの導入の検討、およびネットワーク環境整備など、早急な情報システムの構築や管理が重要と思われるます。 			
4 今後の具体的な改善方針			
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア情報の提供だけでなく、学校祭などの行事で清掃活動以外にも地域貢献としてできることを検討する。 ・学生に対するオープンキャンパスの応援など接遇体験の機会提供を継続する。 ・学生の就職活動のミスマッチを防ぐとともに、卒後のキャリアアップをイメージさせるため、企業訪問、病院訪問において情報収集、意見収集を行うと共に、卒業生をはじめとした業界で活躍される方々の講演会、特別授業の実施を依頼していく。 ・Web出願システム、就職管理システムについては今後の導入に向け具体的な議論を進める。ネットワーク環境の整備についても予算計上を行い段階的に進めていく。 			